

早期発見が大切です



- 早期診断により、将来の生活、治療、財産管理などについて、自己決定できます（任意後見制度の活用など）。（認知症が進行したら法定後見制度（補助、補佐、後見））
- アルツハイマー病には、進行を緩和する薬物があり、近い将来、新しい治療法が開発されます。
- 早期発見により、本人および家族などの介護者のQOL（生活の質）を長く維持できます。

早期発見には早期受診・早期診断が重要です



- 認知症は、年のせいではありません。
- まず、本人や家族が気付くか、疑うことが大事です。
- 気付く手掛かりに、「こころの健康度チェック表」を利用してください。
- 早目に、認知症に詳しいかかりつけ医、または専門機関を受診して、相談・診断をしてもらいましょう。
- かかりつけ医は、早期に専門機関へ鑑別診断を依頼し、治療方針決定後は、フォローアップします。また 定期的なチェックも必要です。これにより、患者・家族との信頼関係は深まります。
- 発見が遅れるほど、本人の苦しみは深くなり、治療もケア（介護）も大変になります。

治療法は病気によって違います



- 治療法は病気によって違います。早期治療で、よくなる病気もたくさんありますので、早期発見・早期診断が重要なのです。
- アルツハイマー病
 - ・ 認知障害に対して、ドネペジル（アリセプト）、ガランタミン（レミニール）、リバスティグミン（リバスタッチ・パッチ、イクセロン・パッチ）、メマンチン（メモリー）などがあります。
 - ・ その他、抗うつ剤、抗不安剤、抗精神薬、抗痙攣剤、睡眠導入剤なども、必要に応じて使われます。
 - ・ 将来的には、新しい治療法も期待できます。例えば、 β アミロイド・ワクチン・抗体、リン酸化タウ・ワクチン、 γ セレクターゼ阻害物、塩酸リチウム、レンバー（メチレン・ブルーという色素）など（現在治験中）
 - ・ 非薬物療法（回想法、音楽療法、学習療法、バリデーション、ユマニチュードなど）

(註)・ β アミロイド・ワクチン・抗体は、老人斑の主成分であり、発病と関係の深い β アミロイドに対する免疫療法です。

- ・ リン酸化タウ・ワクチンは、神経原線維変化の主成分であり、認知障害と関係の深いリン酸化タウに対する免疫療法です。
- ・ γ セレクターゼ阻害物は、 β アミロイドができるのを止める物質です。
- ・ 塩酸リチウムは、神経原線維変化ができるのを止める物質です。